MD シミュレーションによる ネットワークポリマーの緩和挙動

G: TOAGOSEI

東亞合成(佐々木裕

はじめに

- ・クラックの進展を抑制
- Andrews 理論^a
 - ・クラックの応力場
 - ・クラック進展時に、エネルギー散逸
 - 。ヒステリシスに由来

^aAndrews, E. H. and Fukahori, Y., J. of Mat. Sci. 12, 1307 (1977)

ランダム構造について

- ・連結性を不均一に
 - ・連結に位置依存性
- ・巨視的な変形後
 - 。結節点のゆらぎが不均一
 - 。多様な緩和モード
 - 。緩和の長時間化?
- ・解析を容易に、
 - 。既往研究で反応系
 - 。ストランド長と結合数を一定

第三セクション

第四セクション

第五セクション